

◆ 毎月8のつく日は「早く家庭に帰る日」です!

【岐阜県】

岐阜県 中小企業情報

発行所 岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号
岐阜県県民ふれあい会館8階
毎月20日発行 購読料年間1,500円(1部125円)
事務局直通電話
管理調整チーム 058-277-1100(代) 組織指導チーム 058-277-1101
広報・事業チーム 058-277-1102 情報チーム 058-277-1103
事務局FAX番号 058-273-3930
東濃支所 0572-25-0865 飛騨支所 0577-34-4300
東濃支所FAX番号 0572-23-7431 飛騨支所FAX番号 0577-36-4220



← 「元気印の岐阜の組合」発表大会



組合発! 岐阜いいものフェア →

2007
8月号

主な記事	中央会の動き(組合まつりほか)	2~3	岐阜県事務所通信(名古屋事務所)	7
	組合等の動き(伝統建築セミナーほか)	3~4	組合士試験のご案内	8
	第59回中小企業全国大会への要望事項	5	事務局だより(セミナー案内ほか)	8~9
	7月の景況調査	6		

時の課題

夏休み。今から数十年前の男子小学生、宿題では昆虫採集、植物採集、工作に取り組み、遊びでは、川での魚取り、草野球、模型飛行機や竹とんぼなど、「自然」、「手づくり」が多かった。時には、星空に人の存在の小ささを感じたこともあった。

日本経済、特に岐阜県の景気回復は、ものづくり産業に負うところが大きい。航空機、自動車、電機、機械などの関連産業、かつて空洞化の危機が叫ばれたこれらの産業が今や景気を引っ張っている。厳しい様々な経営努力は勿論であるが、技術開発の成果によることも大きい。日本の特許件数、科学技術雑誌からの引用、技術輸出の状況、輸出に占めるハイテク製品の割合などは、世界のトップクラスだ。優れた技術を持つ中小企業が、製品・部品の開発、生産プロセスにおいて川上・川下間の企業間の密接なすりあわせを行っている産業構造とあいまって、日本の製造業の国際競争力の源泉となっている。「科学技術創造立国」は、やはり重要だ。将来ともに、優秀な技術、技能系の人材を確保することが経済発展には欠かせない。

しかしながら、若者の理工系離れが言われて久しい。新規卒者の就職人気度も、地味なものづくり産業より

華やかなサービス産業が高いようだ。

まず、ものづくりに興味を持ってもらうことが大切だ。近年、産学連携や高大連携の授業、インターンシップ、技能五輪やロボット大会など様々な取り組みが行われている。同時に、もっと早い段階、子どもの頃からのモノを作る面白さ、科学の楽しみ、汗を流して働く充実感を知ってもらうことが大切ではなからうか。

これは家庭でもできることだ。思いつくままにあげてみると、キットでないモノを作る、体験型施設のサイエンスワールドや科学館に行く、県内にも様々な産業観光施設を見せる、科学者の伝記を読ませるのもしいかもれない。ディズニーランドへ行ったらついでに国立科学博物館に行く、ミッドランドスクエアに行ったらついでに産業技術記念館に行く、これも楽しい。

ものづくり産業が、若者の夢や生きがいを実現する場の一つとなるようにしたいものだ。

子どもの頃から育てたい

~モノを作る面白さ、汗を流して得る充実感

この機会に、飛騨市の「夢のたまご塾」(名誉総裁:小柴東大名誉教授、名誉セミナー長:フリードマンMIT教授。両者ともにノーベル賞受賞者)を紹介したい。飛騨市民有志が手作りで行っているこの塾、今夏のセミナーでは、県内外から35人の高校生が参加、4日間にわたり朝から夜まで第一線で活躍する学者等の講義、実習、参加者間の交流などが行われた。家に帰っても熱っぽく語ってました等、親からのお礼も何通かあったとのこと。各地で様々な取り組みが広がることを期待したい。

◆「いい旅ふた旅ぎふの旅おもてなし研修」のご案内
開催日程は3頁欄外。お問い合わせは、ひだみの観光推進協議会(0582960870)

8月2・3日に「組合まつり」を開催 悪天候の中、7,500人が来場

中央会は、更なる活発な組合活動に資するため8月2、3日に「組合まつり」を岐阜市藪田南の県民ふれあい会館で開催した。

2日の13時30分からは、同会館3階大会議室で「元気印の岐阜の組合」発表大会を行い、テレビ番組「世界一受けたい授業」で好評の神戸国際大学中村智彦教授による基調講演と、**協同組合ケーエスジー**(入谷弘喜理事長)、**武芸川町特産品開発企業組合**(杉山ミサ子理事長)、**飛騨杉研究開発協同組合**(岡田賛三理事長)の3組合から、新しい取り組みや技術開発などが発表され、約150人が出席した。

中村教授からは「連携の力で中小企業に活力を～テレビの裏側に連携の力を見た～」をテーマに中小企業連携による活性化について講演され、「組合として、会社として“何を”“どんな風に”製作し、販売しているかを広くPRしていくことが、業界に対する理解やファン獲得に繋がるのではないかとマ-

ケットを大きな視点から捉えていく必要がある。東京には大きなマーケットがあり、そこへPRしていく。そしてアジア、ヨーロッパ、アメリカへと“グローバル”を意識して欲しい。組合はその先頭に立って企業を導いて頂きたい。」とアドバイスした。

両日の15時からは会館2階のアトリウムで「**組合発!岐阜いいものフェア**」を開催し、31組合等が美濃焼や美濃和紙、関の刃物、食品などを出展した。中央会では来場者にブースの配置図や団扇を配布し、出展された商品等についての求評を行った。来場者の一人は「県内の地場産品を集めて県内で物産展が行われるのはあまりない。岐阜には全国に誇れる物が沢山あることを改めて理解した。」と話し、会場は各地の組合開発商品等を手に入れようと約7,500人の来場者でにぎわった。また、出展者同士がお互いの苦労や成果を語り合っている場面も多く見られた。

なお、中村教授の基調講演やフェアでの出展の様子など、組合まつりの内容については「組合等活性化情報108号」で詳しく掲載しますので、是非ご覧下さい。

パソコン研修を開催中

中央会では、県下4会場にてエクセル(表計算)・フォトショップ(画像処理)・ホームページなど、組合や中小企業者の方々に役立つパソコン研修を開催している。

7月23日のExcel応用講座(岐阜会場)を皮切りに、10月初旬まで予定している。エクセル講座の受講者のアンケートには「業務に活用できる内容が多く、事務の効率化やスピードアップに役立てられ

る。」と回答があるなど、大変好評を得ている。

なお、以下の講座は若干の空きがありますので、参加希望の方は、情報チームまでお問い合わせ下さい。

【Excel活用講座】9月13日(飛騨会場) 【Photoshop基礎講座】9月4日(中濃会場)・6日(岐阜会場)・13日(飛騨会場) 【ホームページメンテナンス講座】8月22日(東濃会場)・9月26日(中濃会場)・27日(岐阜会場)・10月3日(飛騨会場)

組合の広報戦略について研修

中央会では、「報道機関の現場から見た魅力ある情報」をテーマに、岐阜新聞社の野村克之報道部長を講師として、マスコミが注目する組合等の活動内容について学ぶセミナーを7月25日に県民ふれあい会館で開催した。

野村部長は、「新聞記事は最少のコストで最大の効果が得られる広報手段であり、新聞社や記者と頻

りにコンタクトを持つことが大切である。記者や読者は、経済記事においても、その裏にある人間ものがたりを求めている。」と、情報発信のポイントについて述べた。

また、事例発表として**岐阜県陶磁器工業協同組合連合会**(加藤愛之輔理事長)及び**岐阜県金属工業団地協同組合**(今井哲夫理事長)の2組合より、機関紙の活用について説明し、効果的な広報の進め方について研修した。

官公需受注組合向け懇談会を開催

中央会は、組合や中小企業の方々の官公需の受注機会の増大につなげるため、官公需問題懇談会を7月26日に県民ふれあい会館で開催し、組合や中小企業者、発注機関の国・県・市等の担当者ら約40名が参加した。

懇談会では、本年6月22日に閣議決定された「平成19年度中小企業者に関する国等の契約の方針」のポイントについて、中部経済産業局中小企業課の山田下請代金検査官より説明があった。今年度の方針

では、新たな措置等として 地域産業資源を活用した物件等の調達促進、 中小企業技術革新制度との連携を追加し、中小企業者向け契約目標を約4兆2,406億円(官公需総予算額に占める割合:50.1%)としている。

また、県内の7つの官公需適格組合のうち、高登建設(協業)・中部電友(協)・美濃タイル商業(協)・(協)ケーエスジーの4組合から、組合の現状と要望等が述べられたほか、本会から官公需情報の提供状況等について説明した。

3組合の理事長が知事と懇談

中央会は、古田肇知事、猿渡要司産業労働部長と、本会の辻正会長、福西紀雄理事長(川崎岐阜協同組合)、今井哲夫理事長(岐阜県金属工業団地協同組合)、加藤千雄理事長(岐阜県可児工業団地協同組合)との懇談会を、8月3日に岐阜市内で開催した。昨年度、辻会長が組合を訪問した中で出た意見を実現したもので、ものづくり県岐阜の中核を担う元氣

な3組合の理事長さんから現場の声を聞いてもらうため開催したもの。

各理事長からは、それぞれの組合や企業の活発な活動状況が述べられるとともに、今後の一層の発展に向けた諸課題について意見交換が行われた。



美濃焼産地でおもてなし研修

中央会は、積極的に美濃焼産地の産業観光に取り組む11組合の役職員を対象として、「陶磁器産地における効果的なイベントの実施方法」をテーマに、おもてなしのマナーや消費者にとって魅力のあるイベントの企画方法等について学ばせる懇談会を、7月27

日に多治見市の市之倉さかづき美術館で開催した。

講師の(社)日本観光協会総合研究所の古賀学所長からは、「産業イベントの目的を販売目的ではなく、自ら楽しむことを考えるべきである。」などの助言があり、参加者らは、産業イベントは芸能ではなく、産品を主にすることが原則であることを再確認した。

(株)岡本の視察及び意見交換会を実施

中央会と岐阜県異業種グループ交流推進協議会(大久保為芳会長)は、「現場に学ぶ交流会」として、7月19日に今年度「元氣なモノづくり中小企業300社」に選ばれた株式会社岡本・糸貫FA工場の視察し、意見交換会を行った。

同社では、京都大学との産学連携により、これまでになかった「耐摩耗性・高靱性・非磁性」を併せ

持つ鋳造製品「スーパーメタル」の商品化に成功した。視察後に行われた意見交換会では、事業承継の秘訣について質問があり、堀江常務からは「親族が同じ会社で仕事をするのではなく、異分野で仕事することによりお互いの技術供与が可能となり、グループ企業として成長できる。」と回答するなど、400年の歴史を持つ同社の取り組みについて説明された。

仕事と家庭の両立を推進

中央会後援の「仕事と家庭両立推進セミナー」(主催=財21世紀職業財団)が、県下3会場で7月下旬に開催された。

21世紀職業財団の平田芳子岐阜事務所長は『働き続けやすい企業づくりのポイント』について、岐阜労働局より『一般事業主行動計画の策定』についての説明があったほか、(株)トーカイが取り組む両立支

援の事例発表が行われた。また、本会の大野嘉弘専務理事は『中小企業の子育て支援』について、「両立支援は、企業にとっても有効であり、手厚い助成制度もある。企業の実情を踏まえて、出来ることからはじめてはどうか。」と説明した。

中央会では、県子育て支援企業登録制度への登録、一般事業主行動計画の策定・届出に関する支援を行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

来月5日「暮らしと家具の祭典」開幕

協同組合飛騨木工連合会(北村斉理事長)は、9月5日から9日まで、高山市の飛騨・世界生活文化センターで、恒例の見本市「2007飛騨・高山暮らしと家具の祭典」を開催する。

飛騨の家具を中心にした生活空間を提案する「飛騨デザイン展」などが行われ、組合員企業が最新の

製品や技術を紹介して、飛騨の家具と木工技術をアピールし、飛騨ブランドの国内外への需要開拓につなげている。詳細は、同組合(0577-32-2100)まで。

また、同センター内にある県ミュージアムひだでは、来月9日まで「飛騨の匠展」が開催されており、飛騨の木工の歴史や大工棟梁の愛用品などが紹介されている。お問い合わせは、事務局(0577-37-6111)まで。ホームページ(<http://www.hidanokagu.jp/>)

木造建築の伝統技術を継承

東濃福岡の家建築協同組合(岡山金平理事長)は、「伝統建築セミナー」を7月27日から30日までの日程で開催し、高校生から大学院生まで22人(男性16人、女性6人)が参加した。

伝統的な建築技法である木造在来軸組み工法で木造住宅を建てる大工は、後継者不足のため年々減少している。伝統建築技術に興味のある方や将来大工を志している方を対象に大工体験を通じて木の魅力を伝え、大工を志すきっかけづくりと木造建築の良さを実感してもらうため毎年開催しており、今年で

10回目の開催となった。

地元の熟練大工がのこぎりやのみなどの使い方から建前作業まで丁寧に指導し、記念品のガーデンチェアを製作したほか、自分達で建築した建物の上棟式や屋根からのもち投げも体験した。組合では「木造の伝統工法はなかなか今の学校では教えてくれないので、学生にとっては貴重な体験になったのではないかと話していた。



8月30日・岐阜県産業会館

9月10日・東濃西部総合庁舎

9月11日・飛騨総合庁舎

いずれの会場も13時30分から16時まで。

締め切りは、8月23日までにお申し込み下さい。

多治見と高山で「中金会」を開催

商工中金岐阜支店(瀬川俊文支店長)と取引のある協同組合や事業者らでつくる岐阜中金会(岡本太右衛門会長)及び同支店高山事務所の管轄の飛騨中金会(菟谷穆会長)は、それぞれ経営者セミナー及び懇親会を開催した。

岐阜中金会は、7月5日に多治見市のオースタット国際ホテルで、読売テレビ報道局解説委員長の岩田公雄氏から「政局の行方と日本の将来」をテーマ

に講演会を実施。また、飛騨中金会では、同月20日に高山市のひだホテルプラザで、経営ジャーナリストの疋田文明氏による「どんな時代でも勝ち残る企業経営」について講演会を実施した。疋田氏からは、全国の中小企業の現場等を数多く取材した経験から、規模や業種に関係なく業績を上げている企業を例に出し、「元氣な会社に共通するのは提案力と接客力。常に知恵を出し続ける努力が必要である。」などと、アドバイスした。

新潟県柏崎市で水漏れ調査

高山管設備工業協同組合(砂田信博理事長)は、新潟県中越沖地震で被害の大きかった柏崎市の水道施設の水漏れ調査を行うため、7月21日から22日まで砂田理事長ら幹部4人を派遣し、柏崎市内の上水道施設で、道路に埋設されている本管の通水の確認や水圧調査を行った。

参加した幹部からは、「管がかなり寸断されており、水道施設の完全復旧にはまだまだ時間がかかる状態。防災対策の大切さと、いかに早くライフラインを復興させることが出来るかが、水道業者の使命であると痛感した。」と、被災地を訪れた感想を語った。また、柏崎市ガス水道局と柏崎管設備工業協同組合に、それぞれ10万円の見舞金を寄付した。

ひるかわの御影石をPR

特産品の「ひるかわの御影石」のPRなどを狙い、岐阜県花崗岩販売協同組合(中谷潔理事長)などで作る実行委員会が主催して「第17回石彫のつどい」が7月23日に開幕し、8月4日に同組合広場で完成作品の披露が行われた。

このイベントは、石材業者と石彫作家らがペアを組んで石製の芸術作品を共同制作するもの。今年は、

全国から約30人の応募があり、彫刻家や美術大生ら10人が選ばれ、石材業者8社の作業場で作品づくりが行われた。

組合では、「作家の思いが作品に表れており、どの作品も個性的で素晴らしい。また、御影石の魅力が表現されている。」と話している。



下呂温泉で夏の祭典「下呂温泉まつり」

下呂温泉まつり実行委員会が主催するイベント、夏の祭典「下呂温泉まつり」が、8月1日から3日まで下呂温泉一帯で行われた。同イベントには下呂温泉旅館協同組合(滝多賀男理事長)も参画してお

り、メインの龍神火まつりのほか、温泉感謝祭やみこしパレード、花火大会などが行われた。

組合では、「こうしたイベントは集客力があり、PRするには絶好の機会。今秋からは県あげでの観光キャンペーンもはじまる。下呂温泉の魅力を積極的に発信していきたい。」と話していた。

2組合が電気に関するイベントを開催

岐阜県電気工事業工業組合(杉浦匡介理事長)は、経済産業省主唱により8月の「電気使用安全月間」に合わせて、8月4、5日に岐阜市のマース21で「電気安全フェスティバル」を開催した。

同フェスティバルでは、電気使用の安全と環境保全に関する啓発と同時に電気工事店のイメージアップを図るため、電気に対する興味を高める取り組みやオール電化の魅力、電気工事店の役割などをPRした。会場では、電気工事士による無料相談会や子

供向けの工作教室「いろいろ電池」を実施したほか、人に優しい電気器具の展示等も行った。

また、西濃電気工事協同組合(高橋勤理事長)は、7月21、22日の両日、大垣市のアル・プラザ鶴見で「でんきのことなら何でも相談会」を開催した。オール電化住宅相談コーナーやプロの目による安心配線診断などを行い、消費者からの相談に応じた。



美濃焼風鈴で多治見をPR

観光客に美濃焼の街・多治見をPRしようと、市内にある陶磁器工業協同組合が持ち回りで毎年製作している「美濃焼風鈴」が、今年もJR多治見駅のホームなどに飾り付けられた。

16回目となった今年は、滝呂陶磁器工業協同組合(松原朝男理事長)が多治見市陶磁器意匠研究所のデザインした風鈴1,000個を製作。白地に市の花のキキョウの絵付けがなされた風鈴の涼しげな響きが、

駅利用者の心を和ませている。

組合では「涼しげな音色の響きを耳にすると、しばし現実の慌しさを忘れ昔懐かしく心が癒されます。そうした思いを皆さんにもお伝え出来たら嬉しいです。」と風鈴への思いを語った。なお、中央会のカウンターにも風鈴を設置しておりますので、来会の際はご覧下さい。



全国大会の要望事項(岐阜県案)がまとまる

全国中央会と都道府県中央会の主催で「第59回中小企業団体全国大会」が、10月25日(木)の午後1時30分から東京の国技館で開催されます。この中で決定される中小企業対策に関する要望事項について、岐阜県案がまとまりましたので、その概要についてお知らせします。

総合

景気対策、中小企業対策・予算、官公需対策、公正取引の確保・下請工賃の適正化、地場産業・伝統的工芸品産業対策、原材料の安定供給、建設業関係業種への支援、中小物流業対策支援の強化、新たなサービス業の育成への支援、BCP策定組合への支援等の10項目についての要望。

【概要】中小企業においては未だ景気回復の実感はなく、平成20年度予算編成においては、中小企業施策の充実と中小企業対策予算の大幅な増額を図るなど、歳出の効率化と中小企業の景気対策の両立を講じること。また、中小企業連携組織対策を国と地方が一体となり重要な柱として位置づけ、中小企業団体中央会の指導体制の整備に万全を期すること。

組織

組合制度の改善、商工組合、組合士制度についての3項目の要望。

【概要】中小企業連携による新事業展開等、事業協同組合等の持つ機能を十分に発揮できるよう更なる制度の改善を行うこと。また、業界を代表し、指導的機能を有する商工組合の取組みに対する支援策の強化、組合士制度促進のための振興策を講じること。

金融

金融対策、高度化融資制度、政策金融機関、信用補完制度、金融その他の5項目についての要望。

【概要】中小企業を支援するための金融制度において、融資条件等の緩和並びにリレーショナルシップバンキングの促進などを行うこと。また、政策金融機関の改革の際、中小企業の資金調達に支障が出ないようにすることなど、要件の緩和や支援措置の充実を講じること。

商業・流通

まちづくり・中心市街地活性化、空き店舗対策等の2項目についての要望。

【概要】若手リーダーを育成する助成制度など支援策の拡大を図るとともに、「まちづくり3法」を活用した抜本的かつ総合的な中小小売商業振興・活性化対策を講ずること。また、コンパクトでにぎわいあふれるまちづくりを実現するため、公共都市機能を中心市街地に集約させること。

税制

法人課税・中小企業軽減税率、消費税、同族会社・事業承継税制、固定資産税、自動車税関係、環境関連税制、税制その他の7項目についての要望。

【概要】法人税について、基本税率の更なる引き下げや協同組合等の軽減税率の引き下げを行うことなど、各税制において中小企業に配慮した措置を講ずること。

環境

環境対策・廃棄物処理対策、環境その他の2項目の要望。

【概要】中小企業が無理なく環境配慮型の経営を実践できるよう助成・融資等支援制度の充実整備を図るなど積極的に支援すること。また、中小企業が今後とも環境対策に着実に対応していくための助成措置等について、特段の配慮を行うこと。

労働

雇用施策・支援、若手人材の確保、年金制度、社会保障制度、産業別最低賃金、パートタイムの6項目についての要望。

【概要】労働施策関連の各種助成金制度の拡充及び周知を積極的に行うとともに、仕事と家庭の両立支援を目指した次世代のための支援など、労働分野における課題解決のため施策並びに各種助成金制度の拡充などの措置を講ずること。

情報化

情報化施策についての要望。

【概要】中小企業のIT化支援施策に対し、十分な予算措置を講じ、各種支援策を拡充するなど、組合等情報化助成策の一層の充実強化を図ること。

その他

高速道路割引制度、中小企業倒産防止共済制度、外国人研修生、技能実習生制度の3項目についての要望。

【概要】協同組合においては、首都高速道路割引制度は重要な役割を果たしており、特段の配慮を講ずること。また、外国人研修生・技能実習制度においては、近隣諸国や国内企業のニーズに沿った運用緩和・拡充を図り、制度の改編については、団体管理型での受入を行っている中小企業に対して、十分配慮した制度を構築すること。

中央会では、全国大会への参加者を募集しています。大会の概要、参加申し込みなどについては、ホームページ(<http://www.chuokai-gifu.or.jp/>)に掲載しておりますので、ご確認下さい。お問い合わせは、管理調整チームまで。組合役職員の皆様、多数の参加をお待ちしております。

景況感DI値 マイナス46に大幅悪化

売上高、収益状況も大幅に悪化

7月景況調査

中央会が主要業種85組合(うち83組合による集計)を対象にまとめた『7月の特色』は次のとおり。

【7月の特色】組合から見た県内中小企業の特色は 景況感DI値 マイナス46に大幅悪化 売上高、収益状況も大幅に悪化 となっている。

7月の景況動向を前年同月比景況感DI値で見ると、DI値は、マイナス46となり、前月のマイナス31に対し、15ポイントの悪化となっている。景況感DI値は、3ヶ月連続の悪化となり、平成17年1月以来、再びマイナス40台となり、景況感が大きく後退した。

他の主要な調査項目についても、売上高マイナス38で、前月比9ポイント、収益状況マイナス39で、前月比8ポイントと大幅に悪化し、販売価格もマイナス9で前月比2ポイントの悪化となった。

業種別の業況概況では、83業種のうち、好転したのが4業種(食肉、米菓、輸送用機器、機械・工具販売)に限られ、逆に半数以上の42業種では悪化となっている。

コメントでは、依然、材料価格、燃料費等の値上りによるコスト増と価格転嫁難による収益面への影響を指摘する意見が多く業種からでている。また、今月は、商店街等で台風等による天候不順の影響による売上減少の指摘がある。

県内中小企業主要業種の景況動向 (7月末調査)

表の見方：売上・景況感： 好転・増加 変わらず 悪化・減少

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品		牛乳・乳製品						
		豆腐						
		食肉(国産)						
		菓子菓						
		米菓						
繊維・同製品		寒天水産						
		製 織						
木材・木製品		製材						
		銘木						
		集成材						
		家具(飛騨地区)						
紙・紙加工品		東濃ひのき						
		家庭紙						
印刷		特殊紙						
		紙加工品						
化学		印刷						
窯業・土石		プラスチック						
		陶磁器(工業)						
		陶磁器(輸出)						
窯業・土石		タイル						

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
窯業・土石		窯業原料						
		石灰						
		生コンクリート						
		砂利生産						
鉄鋼・金属		砕石生産						
		鋳物						
		刃物等金属製品(輸出)						
一般機械		刃物等金属製品(内需)						
		メッキ						
電器機器		県金属工業団地						
		可児工業団地						
輸送用機器		金型						
		電気機械器具						
各種物産品		輸送用機器						
		各種物産品(観光)						
卸売業		各種物産品(ギフト)						
		医薬品卸						
		電設資材卸						
		陶磁器産地卸						
小売業		機械・工具販売						
		青果販売						
		水産物商業						
		家電機器販売						
		メガネ販売						
		中古自動車販売						
		石油製品販売						
		共同店舗(東濃)						
共同店舗(飛騨)								
商店街		生花販売						
		岐阜市商店街						
		大垣市商店街						
		多治見市商店街						
		恵那市商店街						
サービス業		高山市商店街						
		自動車車体整備						
		自動車タイヤ整備						
		長良川畔旅館						
		下呂温泉旅館						
		高山旅館						
		クリーニング						
		広告美術						
		情報サービス業						
		映像制作						
建設業		飲食業						
		ビルメンテナンス						
		理容・美容業						
		土木(岐阜地区)						
		土木(飛騨地区)						
		土木・建築(羽島地区)						
		建築設計						
運輸業		鉄構造物						
		電気工事						
		管設備工事						
		建築板金						
		木製建具						
		産直住宅(東白川地区)						
運輸業		貨物運送(県域)						
		軽運送						

岐阜県事務所通信(名古屋編)

GNI(グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ)の挑戦

名古屋事務所(中津川市研修生) 平野 浩司

セールスで古田知事を団長とする代表団がアメリカを訪問(18年11月)したのをはじめ、「上海IT企業招へい事業」(17年3月)や、「中国ITリーダー企業招へい事業」(18年8月)、「台湾企業招へい事業」(19年2月)などを実施し、中国、台湾からIT・電気・電子関連企業を招へいし、ソフトピアジャパン(大垣市)やテクノプラザ(各務原市)の視察や地元企業との商談会を実施しています。



拡がるビジネスチャンス

グレーター・ナゴヤは、日本の真ん中という地理的優位性と充実した陸・海・空の交通網による「ヒト・モノ」のアクセスの優位性を持ったビジネスチャンスの宝庫です。

また、日本に進出している海外企業は、日本国内でのビジネスパートナーを求めています。

塗料・塗装の特殊技術を持った企業が進出した際、まず、その技術を生かして日本国内でその企業の塗料を使って特殊塗装が行える日本のビジネスパートナーを求め、その候補企業を紹介したといったような事例もあり、GNIでは海外企業とグレーター・ナゴヤ圏内の日本企業、大学、研究機関等の提携を積極的に奨励する「GNIパートナーズクラブ」を運営しています。

クラブの主たる事業として、海外企業との業務提携を望む約380の域内の企業、大学、研究機関等の概要を英語版のウェブサイトに掲載して検索・閲覧できるようにし、海外企業が当地域においてビジネスパートナーを探す際の大きな「手がかり」を提供しています。また、企業同士のマッチング機会を設け、域内企業に新しいビジネスがもたらされることもあり、これまでの「海外企業招へい事業」を活用して、海外企業と提携し、新ビジネスへ展開していく例も見受けられます。

新たなビジネスパートナーを模索中の事業者の方や、新ビジネスへ進出する意欲のある事業者の方は、ぜひ「GNIパートナーズクラブ」へご登録いただき、新たなビジネスチャンスをつかんでください。

グレーター・ナゴヤとは、名古屋市中心に愛知県、岐阜県、三重県にまたがる半径約100kmに拡がる地域を指します。この地域は、行政上は県や市町村ごとに垣根がありますが、経済圏としてはひとつであり、日本のまん真ん中にある「ものづくり」を牽引する製造業の集積地域で、いま、日本で一番元気の経済圏として注目されています。

GNIは、世界的には知名度の低いこの地域を統一した呼び名でPRし、世界各地から優れた企業・技術やヒト・情報を呼び込み、行政、産業界、大学、研究機関が一体となり、国際産業活動を促進する活動です。

そのため、グレーター・ナゴヤの統一ブランドによる情報発信・PRを行い、多様な交流・連携の機会提供・仲介などを推進する組織として、中部経済産業局、愛知、岐阜、三重の3県と名古屋市をはじめとする賛同市、地元経済団体、日本貿易振興機構(ジェトロ)などによって平成18年2月にグレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会(GNIC)が設立されました。そこで、国際産業交流機能を強化し、交流分野拡大への機動的な取り組みを行っています。

活動の実績

GNI理念のもと、国内外への情報発信、海外へのミッション派遣、外国企業の招へい、外国企業立ち上げ支援事業などを行い、その活動成果として、自動車関連、IT関連、物流の外国企業が平成16年度に2社、17年度に5社、18年度に18社の計25社がこの地域に進出、事業拡大しました。

岐阜県の活動

岐阜県においてもGNI活動の一環として、トップ

GNIパートナーズクラブ問合せ・登録申込先

グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ室

(中部経済産業局内)

TEL 052-951-0547 / FAX 052-961-7829

E-mail : gni-partner@meti.go.jp

HP <http://www.greaternagoya.org/jpn/>

事務局だより

「加賀屋」小田会長の講演会を開催します！

質の高いサービスとは、形はそれぞれの異なるもののあらゆる業種に求められています。和倉温泉「加賀屋」は、プロが選ぶ日本のホテル旅館で27年連続日本一の座を維持していますが、この要因となっている「接客・サービス」が確立されるまで、どのような取り組みがなされたのでしょうか。

中央会では、経営セミナー『「プロが選ぶ日本のホテル・旅館で27年連続日本一」の秘密』と題して、サービスの本質について学ぶ講演会を開催します。

お問い合わせは、広報・事業チーム。

- 【日時】9月12日(水)10時～11時30分
- 【場所】グランヴェール岐山 5階「飛翔」
- 【講師】和倉温泉「加賀屋」小田禎彦会長
- 【テーマ】「顧客サービスの質・差別化とは何か」



テレビ等でも活躍!三瀬弁護士の講演会

中央会と中央会レディースクラブ(加藤智子会長)は、NHKテレビ「生活笑百科」に出演の三瀬顕弁護士を講師に「女性経営者等支援セミナー」を開催します。

同氏からは、取引や雇用など会社経営にまつわる様々なトラブルの事例を挙げて、知っているようで意外と知らない法律問題とその解決策をわかりやすく明快に語って頂きます。お問い合わせは、情報チー

- ム。
- 【日時】9月18日(火)15時～16時30分
- 【場所】グランヴェール岐山 3階会議室
- 【講師】大阪弁護士会 三瀬顕弁護士
- 【テーマ】「経営者のための身近な生活笑百科」



平成19年度

中小企業組合検定試験のご案内

主催：全国中小企業団体中央会 後援：中小企業庁 協力：岐阜県中小企業団体中央会

中小企業組合検定試験を受けて組合士になろう！

今年も組合士検定試験が12月2日(日)に開催されます。試験科目は、「組合会計」、「組合制度」、「組合運営」の3科目で、一部の科目について合格した場合は、その後3年間はその科目の受験が免除されます。

現在、全国で約3,500名の方が、中小企業組合士として活躍されています。中小企業組合はガバナンスの充実が求められており、組合員はもちろん、広く社会の信頼を高め、社会的責任を果すには、組合運営の経験と専門的知識を備えた事務局が必要です。1組合1組合士を目指しましょう！

昨年の状況

受験者数327名、合格者数191名(合格率55%)で、県内からは4人の方が試験に合格されました。

平成19年度「中小企業組合検定試験」受験概要

- 試験日時：平成19年12月2日(日)
- 会計(10時～12時) 制度(13時～14時20分)
- 運営(14時40分～16時)

試験地：名古屋他19都市

受講料：5,000円(一部免除者は3,000円)

受験申込：願書に必要事項を記入の上、10月15日(月)までに岐阜県中央会までお申込み下さい。受験願書は中央会にあります。

お問い合わせ

岐阜県中小企業団体中央会 組織指導チーム Tel 058-277-1101

* 受験のためのテキストもありますので、ご相談下さい。



「中部大学フェア」のご案内

中部大学では、9月19日(水)に「中部大学フェア～産官学連携・人づくり・ものづくり～」を開催する。

中部大学では、大学における研究者の技術シーズを広く公開することにより、従来から行っている共同研究だけでなく、研究者との交流や新しい形態で

の連携などにつなげたいとしており、当日は基調講演のほか、技術相談、知的財産相談コーナーなどを設け、多彩な研究活動を紹介します。

お問い合わせは、中部大学研究支援センター(0568-51-4852)まで。

- 【日時】9月19日(水)10:00～17:00
- 【会場】中部大学キャンパス内

産廃排出事業者の皆様にお知らせ

産業廃棄物を排出する事業者は、その処理を他人に委託する場合、マニフェスト(産業廃棄物管理票)の交付が必要ですが、来年4月1日以降については、毎年6月末までに県(岐阜市内の事業場にあつては岐阜市)へマニフェストの交付状況等を報告することが必要になりました。(初年度はH19.4.1~H20.3.31の1年分)ただし、電子マニフェストを利用した場合は、事業者に代わって(財)日本産業廃棄物処理振興センターが県知事等への報告を行います。

そこで、県、岐阜市、(社)岐阜県産業環境保全協会では、事務処理の効率化などのメリットがある電子マニフェストの説明会を開催します。

【日時】9月12日(水) 第1回=10:00~12:00 / 第2回=14:00~16:00 (いずれも定員150名)

【場所】ウェルサンピア岐阜「乗鞍の間」

申込み・問い合わせは、協会事務局(058-272-9293)まで。また、電子マニフェストについては、廃棄物処理振興センターのホームページ(<http://www.jwenet.or.jp>)をご覧ください。ソフトの入手等も可能です。

地域資源活用支援窓口がオープン

(独)中小企業基盤整備機構は、経済産業省の「中小企業地域資源活用プログラム」に基づき、地域の“強み”となり得る産地の技術、農林水産物、観光資源等の地域資源を活用して、新商品・新サービスの開発等に取り組む地域の中小企業の様々な相談に応じ、商品企画、販路開拓等に係るアドバイスなどの徹底

したハンズオン支援を行うため、地域資源活用支援事務局を開設した。

事務局では、マーケティング等に精通した専門家が常駐して窓口相談に対応し、事業内容や支援ニーズに応じて、各種専門家から成る「個別支援チーム」を組成して、需要開拓・事業化達成まで支援する。

お問い合わせは、同機構中部支部・中部地域支援事務局(052-218-8558)までお願いします。

中退共制度の利用は中央会へ

中央会では、従業員の退職金制度を利用していない中小企業等への支援として、「中退共制度」の利用を積極的に推進しています。この制度は、中小企業の退職金制度を国がサポートしているため、安全・確実・有利な特典があります。

また、平成24年3月末までに他の制度に移行するなどの対策が必要となっている適格年金制度からの移行先としても利用できます。組合職員、企業の従業員の方々の退職金について中退共制度の活用をご検討下さい。お問い合わせは、広報・事業チームへお願いします。



9月中

12日 経営セミナー(10時00分~/グランヴェール岐山)

18日 女性経営者等支援セミナー(15時00分~/グランヴェール岐山)

7月21日~31日

23日 岐阜地方最低賃金審議会(勤労福祉センター)

24・26・30日 「仕事と家庭の両立支援セミナー」(岐阜市・恵那市・美濃加茂市)

31日 岐阜県最低賃金審議会(岐阜合同庁舎)

パソコン研修

【Photoshop基礎講座】4日(中濃会場)・6日(岐阜会場)・13日(飛騨会場) / 【ホームページメンテナンス講座】26日(中濃会場)・27日(岐阜会場)

申込締切後の講座でもまだ余裕がある場合がありますので、情報チームまでお問い合わせ下さい。

8月1日~20日

2・3日 中央会・組合まつり「組合発! 岐阜 いいものフェア」(県民ふれあい会館)

4日 岐阜国体内定記念総決起大会(岐阜メモリアルセンター「で愛ドーム」)

13日 岐阜地方最低賃金審議会(岐阜合同庁舎)



建設足場事業協同組合

理事長 清水 敏之

〒501-6257 羽島市福寿町平方7丁目33番地2

☎ 058 397-0233

FAX 058 397-0237

可茂建築解体処理協同組合

代表理事 長谷部 周作

〒505-0016 美濃加茂市牧野2391番地の1

☎ 0574 27-2258

FAX 0574 27-2258